

第4章 外出中に想定される事故

◎外出時は想定外の事故が発生しやすい事を踏まえて、綿密な打ち合わせを行いましょう

1.人数の配置

- ・近所の公園や交通手段を使い遠方へ行く際に限らず、職員数は通常よりも多めに配置
(思わぬハプニングや事故等の対応を速やかに行うためにも、職員配置数は多めに)
- ・緊急時対応の連絡先一覧を持参しておきましょう。
(急変による対応方法や指定搬送病院、保護者の緊急連絡先等の一覧)

2. 現地確認・準備物(遠方へ行く際は特に念入りに行いましょう)

- ・身障用トイレはあるか、おむつ替えのベッドはあるか、食事の場所は確保できるか
- ・移動(交通)手段は何を使うか、現地の状況はどのようになっているかの下見
(行方不明になった時に危険な場所はないか 道路・川・池)
- ・班別に行動する場合の集合場所の確認(緊急時等含む)
- ・現地の状況により必要な備品の用意
- ・事故によるケガ等に対応できる病院が近くにあるか
- ・必要に応じプログラム表(現地地図)等を配布し、職員は事前に打ち合わせを行いましょう
- ・可能であれば当日参加児童にも「しおり」を配布し、行先などを伝えておきましょう
(障害特性上、予め知らせておいた方が良い児童に対して)

3.移動中(移動手段により検討)

※特に体調急変・パニックやフラッシュバックに伴う事故に注意しましよう

3-1 徒歩での移動

- ・走行車両や他の歩行者・自転車等との接触がないよう職員の配置を行う
(職員が車道側を歩く・列の先頭・中程・後尾に配置)
- ・信号(交差点)・踏切での事故
- ・第3者への他害や車両等の破損
- ・突然の走り出し(可能性のある児童には、予め職員を配置)
- ・段差等での、つまずき転倒
- ・車椅子の脱輪・転倒・ずり落ち(車椅子介助が不慣れな職員にはさせない)

3-2 送迎車両での移動

- ・運転手の不注意による事故(走行ルートの打ち合わせは綿密に)

※第2章 送迎中に想定される事故参照

3-3 交通機関(電車・バス)での移動

- ・駆け込み乗車による事故(時間には余裕をもって)
- ・ドアへの巻き込み・挟まれ
- ・乗車、降車拒否(暴れる・他害・奇声・唾吐き・第三者への迷惑行為等)
- ・駅構内での事故(階段・ホーム等、突然の走り出しによる転倒・転落)

- ・車両が揺れた時の転倒(ブレーキをしていなかった事による車椅子の動きだし・転倒)
- ・乗車中の失禁・乗り物酔いによる嘔吐

4.現地で起こりうる事故

- ・行方不明(行方不明になった時の対策・手順を検討しておく)
- ・発病、発作時の対応方法(安静を保てる場所の確保)
- ・店舗等での物品破損、破壊
- ・外出先で調理等を実施する場合に想定される事故(特に火傷・切り傷・食中毒)
- ・遊具からの転落(公園やテーマパーク等)

※外出中は必ず思わぬハプニングが起こります。慌てず冷静に対応できるように、事前に参加職員がミーティングを行い、周知しておきましょう